

暮らし方を

はじめまして、八女に暮らしています

選ぶ Style 5



YAME NO ROMAN
八女移住計画

《問い合わせ窓口》
福岡県八女市役所 地域振興課（定住対策係）
TEL.0943(24)8162 FAX.0943(22)2186
E-mail.teijyutaisaku@city.yame.lg.jp
URL.http://www.romanticyame.com





寺崎さんは、八女市上陽町にあるみんなの館で開催されるイベントのサポートなども行っています。

取材日:2016年7月13日

選べるライフスタイル

地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域へ一定期間居住し、地域資源の発掘・活用や、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながらその地域への定住・定着を図る取組みです。平成27年度総務省の調べでは、全国673自治体で2,625人の隊員が活躍しています。平成28年9月時点で八女市では、7名の隊員が活動しています。



寺崎さん

※地域の道路や川を住民自ら共同作業で掃除する活動

よく友人からも「田舎に住んでみたい」と言われますが、仕事があるのか？という不安が大きいみたいです。でも、写真やデザインなんかは人手が足りてないくらい。もっと来て欲しいなあと思っています。

生産者さんを撮るとかやったことなかったし、「夜中まで製茶してるから撮りにこい！」って声かけてもらえて、そういう現場を知らなかったし、実際、現場に入れるというのは幸せですよ。

お茶を撮りたいから、お茶屋さんアプローチしていく、といった風。

個人的に八女は、どこにいても木とお茶が切り離せない気がしています。林業に関してはまだまだ勉強しなくてはと思っています。ですが、全然関わることがなかった分野の人たちと今、出会えた。私も写真を撮りたいので、自分の撮りたい物の方向へ仕事を仕向けたいか、最終的には写真に結びつけています。

自分のしたいことへ結びつくように仕事を仕向ける

今年1年（平成29年3月末）で地域おこし協力隊の契約が終わりますが、それ以降も上陽の方達と仕事を通じてずっと繋がっていくと思います。

八女に来たからには、「お茶」に関わる何かをやりたいなと、ずっと思っていました。そう思っていたら、協力隊活動を通じて、ずっと一緒にやっていきたいと思う重要な人に出会うことができました。

個人的に八女は、どこにいても木とお茶が切り離せない気がしています。林業に関してはまだまだ勉強しなくてはと思っています。ですが、全然関わることがなかった分野の人たちと今、出会えた。私も写真を撮りたいので、自分の撮りたい物の方向へ仕事を仕向けたいか、最終的には写真に結びつけています。

お茶を撮りたいから、お茶屋さんアプローチしていく、といった風。

“自然”と“便利”のバランスが良いまち

上陽は、自然に囲まれているのはもちろんなんですけど、意外と八女や久留米といった市街地が近いんです。だから、買い物には困らない。田舎暮らしに憧れたとしても、あんまり市街地から遠いと不便を感じることも多いかもしれません。そんな心配はありません。

風景は田舎の景色が広がっているのに、ちょっと行くと何でも揃う場所に出れることは、田舎暮らしをしたい、してみたいという人にはすごく良いと思います。

ご近所さんや大家さんとの良い関係

地域おこし協力隊の住居として市に用意してもらった住宅は、1人暮らしには、かなり広い（笑）

八女に来た当初、私「隣組」とか知らなかったんですよ。「道路愛護」も初めて知りました。

最初に行った時に、いきなり拡声器で「うちの地区に入ってきたら！って！それにビックリした記憶があります（笑）

うちの周りのご近所さんは皆さんとても優しいです。

また、大家さんがすごく良い人で、いろんな情報をくれたりとか、集まりに呼んでもらったりしてくるんです。

大家さんと良い関係なのが、良かったなあと思います。

「知らない分、面白そうだな」

自然が豊かな八女には良いイメージがありました。

Style 5

寺崎 浩子さん

東京都から移住 「八女市地域おこし協力隊」

HISTORY

出身地	福岡県久留米市
移住元	東京都
移住年	2013年
職業	カメラマン
年代	30代
家族構成	本人

仕事発見型

地域おこし協力隊として活動していく中で、地元の人との関わりが増えてきた。自然と想いが通じあった地元の方とこれから八女でビジネスにチャレンジしていきます。